

8 共同利用・協同観測・研究交流

8.1 ドームレス太陽望遠鏡(DST)

8.1.1 共同利用

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計107日間(約18週)

川手朋子(核融合研) 計24日間

「クーデ鏡自動制御システム開発および太陽領域別スペクトルアトラスの作成公開」

野澤恵、他(茨城大学) 計10日間

「K I 770 nmの吸収線を用いた偏光分光観測による浮上磁場領域の磁場診断」

三浦則明、他(北見工業大学) 計13日間

「地表層補償光学装置(GLAO)の動作実験と常設補償光学装置(AO)校正データの取得」

當村一郎(大阪府立大学工業高専)、川上新吾(文科省) 計16日間

「2波長同時高速2次元分光による光球～彩層ダイナミクスの時間変動観測」

北井礼三郎(立命館大学) 計14日間

「彩層プラージュの加熱とジェット」

野澤恵、他(茨城大学) 計6日間

「Fe I 630 nm 吸収線を用いた高波長分解能観測による太陽光球層の速度診断」

山下真依、戸塚都(兵庫県立大学) 計6日間

「恒星との比較を目的とした太陽の活動領域の近赤外 CaII 三重輝線の測定」

花岡庸一郎、森田諭(国立天文台) 計6日間

「H2RG赤外カメラによる偏光観測の機能実証」

末松芳法、伊集朝哉(国立天文台) 計12日間

「ニオブ酸リチウム近赤外狭帯域フィルターによる太陽観測」

8.1.2 他大学・学校向け観測教育実習

新型コロナウイルス流行対策のため、受け入れ休止中

8.1.3 国際協同観測

7月25日-31日、8月22日-28日

Hida-Hinode-IRIS campaign observation (IHOP0362)

”彩層プラージュの加熱とジェット”